

令和3年2月4日

動物実験講習会 研修記録

(一財) 沖縄美ら島財団
動物実験委員会 事務局

開催日時：令和3年2月4日 16:00～17:00

場所：Zoomによるオンラインおよび本部棟 1F 視聴覚室 A

講師：本村浩之（鹿児島大学 総合研究博物館 教授、鹿児島大学 ABS 対策推進室）

参加者：総合研センター統括、動物研究室（9名）他 計26名

タイトル「基礎研究（分類学・生態学）における海外遺伝資源利用の実践」

概要：遺伝資源の取得の機会（Access）とその利用から生ずる利益の公正かつ衡平な配分（Benefit-Sharing）は、生物多様性の重要課題の一つで、Access and Benefit-Sharing の頭文字をとって ABS と呼ばれる。海外から生物資源を入手して研究・開発を行う場合はその国の ABS に関する法令を遵守する必要がある、違反すれば罰則がある。一方で、本件に関して十分な知識を有する職員は少なく、このままでは知らぬ間に法令違反を犯す危険性がある。そこで本件に関する専門家をお招きし、Web 講習を実施した。

内容

- ① ABS（Access and Benefit Sharing）とは何か
 - ・生物多様性条約とその目的
 - ・名古屋議定書による ABS 実効性の担保
 - a. 遺伝資源とは
 - ・ ABS の対象物と非対象物
 - b. ABS の手続き
 - ・ベトナムとフィリピンの事例
- ② 質疑応答

以上